

みらい・じょうばん

～常磐まちづくり通信 vol.2～

常磐まちづくり通信“みらい・じょうばん”は、市と地域の皆様で進めている“まちなか”（市街地）の再生に向けた取組みを、皆様にお知らせします。

写真：湯本駅前にぎわいづくりオープンテラス（市撮影）



“第2回 常磐地区まちづくり検討会”を開催しました！



第2回 常磐地区まちづくり検討会

- 場所 常磐公民館
- 日時 令和2年10月1日（木）18：30～
- テーマ
「市街地再生に向けた具体的な取組みの検討」

常磐地区の市街地再生に向けた取組みについて、観光や商業、教育、文化等の各種団体の皆様と行政の担当職員で幅広く議論するため、検討会を開催しました。（計43名）



写真：事務局からの説明

今回は、第1回検討会で多く出された意見を踏まえ、具体的な場所や事業の実現性などを考えながら、次の項目について検討しました。

- ①市街地の再生に向けた具体的な取組み
- ②湯本駅前の拠点機能



↑写真：検討結果の発表（1班）

←写真：ワークショップ（2班）





たくさんの御意見、ありがとうございました！



写真：ワークショップの様子（3班）

【1班】

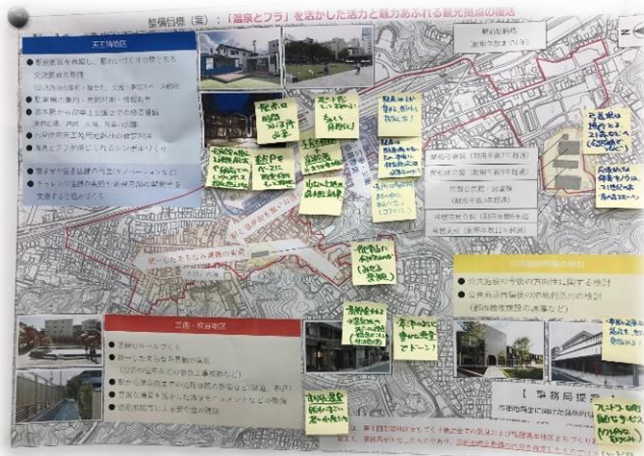
- ・駅前から御幸山公園までの間は、常磐地区の顔となる場所。「温泉とフラ」を活かした、ハード・ソフト施策に取り組むべきではないか。
- ・駅前と温泉街をつなぐためには、街並みの景観を統一する整備が必要。
- ・天王崎団地跡地の利活用は、子供たちが交流できる空間を創出できたらよい。

など

【2班】

- ・温泉街らしく、もっと「湯気」を立たせる仕組みを作ってみるのはどうか。
- ・常磐湯本温泉の「駅を降りて、歩いて温泉街に行ける」という特徴を活かすべき。
- ・ブロンズ通りを無電柱化し、テラス席をつくり、くつろげる空間を創出するのはどうか。
- ・駅前に老朽化した公共施設を集約し、さらに民間商業施設を設けることで、集客や賑わい創出が図れるのではないか。

など



写真：3班の検討結果

【3班】

- ・県道が無電柱化して、歩道のバリアフリー化が進めば、まちの回遊性向上に繋がるのではないか。
- ・駅前に、ラトブのような学生が勉強できる図書館機能があるといい。
- ・子育て世代が利用しやすいような子育て機能を充実させるべき。

など

次回のまちづくり検討会では、皆様からいただきました御意見をもとに、さらに、議論を深めていきたいと考えています！



常磐まちづくり検討会 今後のスケジュール

開催日	検討項目（案）
第1回（8月27日）	地区の課題解決に向けた優先的な取組みの検討 (済)
第2回（10月1日）	市街地再生に向けた具体的な取組みの検討 (済)
第3回（11月中旬頃）	市街地再生に向けた事業素案の検討
第4回（3月下旬）	市街地再生に向けた基本構想（案）のとりまとめ



問合せ先 **いわき市 都市建設部 都市計画課 都市再生係**
 電話 **0246-22-7513（直通）**
 E-mail **toshikeikaku@city.iwaki.lg.jp**

